

第1回福岡県水道広域化推進プラン検討委員会 議事要旨

- 開催日時 令和4年7月15日(金) 14:00～15:30
- 開催場所 福岡県中小企業振興センター 501会議室
- 出席者 委員8名
美谷委員長、池山委員、大友委員、菊池委員、樽井委員、野中委員、姫野委員、広城委員
- 事務局 福岡県県土整備部水資源対策課水道整備室

○議題

(1) 福岡県水道広域化推進プラン検討委員会について

- ・検討委員会設置要綱の制定について
事務局より資料2に基づき説明。質疑等なし。
- ・委員長選任
委員の互選により美谷委員が委員長に選任された。
- ・会議の公開について
事務局より資料3に基づき説明。質疑等なし

(2) 「福岡県水道広域化推進プラン」の骨子について

事務局より資料4-1、4-2に基づき説明。主な質疑等以下のとおり。

【委員】

今回、福岡県水道広域化推進プラン検討委員会が発足するという事は、福岡県内の事業者は承知しているのか。

【事務局】

水道広域化推進プランの策定については、令和2年度から策定準備を行っており、各事業者に対して、シミュレーションの意向確認や内容結果等その都度説明を行ってきている。

【委員】

自治体間で広域化に対する温度差があると思うので、その部分についてどう進めるのかを検討してもらいたい。

【事務局】

今後の広域連携を進める上では、各事業体の意見等を調整しながら、広域連携を行う双方にメリットがあるような、あるべき広域化の形を模索していく必要があると考えている。

【委員】

今回のプランに掲載される広域化のシミュレーションは、県内全事業体を網羅する必要があるのか。

また、今回のシミュレーションで、メリットがあるような上手くいったもののみプランに載せるのか。

【事務局】

プランの策定において、国からは、県内すべての事業体を網羅するような要請はあっていない。今回のプランでは、各事業体の広域化に対する意向等を考慮したうえで、シミュレーションを行う事業体を設定している。

また、今回のシミュレーションの結果、効果が見られないものもあったが、その結果を踏まえて、関係事業体と各シミュレーション結果をプランに掲載するかについての検討協議を行った上で、決めていきたいと考えている。

【委員】

広域化にあたって、福岡県としてはどのように関わっていくのか。

【事務局】

プランに掲載した個々の広域化パターンについては、実現に向けて県が主体的に関わって進めていこうと考えており、今後も広域化の推進役としての役割をしっかりと務めていきたいと考えている。

【委員】

今回のプランの広域化の検討に入っていない地域についても、将来的に取り残されるようなことのないようにしてもらいたい。

【事務局】

県内の水道事業が維持存続できるような視点で、今後も広域化を含めて、各事業体との議論を進めていきたいと考えている。

(3) 本県の広域連携の主な取組事例について

事務局より資料5に基づき説明。

関連して委員から田川地域における広域連携の取組に係る補足説明。

補足説明の内容は以下のとおり。

- 令和5年4月の事業統合に向けて、平成31年の経営の一体化後の組織に関する事、国の補助金を活用した施設整備や管路更新といったハード面、会計システムや料金システムの統合といったソフト面の取組に関する現状の説明。
- 事業統合に向けた課題として、施設整備に関して技師の確保や料金統一までの協議調整について事例紹介。
- 統合のメリットとして、施設更新等が必要となる中で、水道料金収入以外の外部資金として、補助金を活用できることや、水道料金の上昇が抑制できることの説明。

○その他

事務局から今後の本検討委員会の開催予定等を説明。